

# あいめーる

平成 28 年 08 月 10 日発行 〒861-0551  
 発行 熊本県山鹿市津留 2022  
 社会福祉法人 愛隣園 TEL 0968-43-2771  
 障害者支援施設 愛隣館 FAX 0968-43-2793  
 発行責任者 三浦貴子 http://aileans.com  
 編集 広報チーム E-mail  
 キャリーピジョン ailinkan@magma.jp

SUMMER

## 熊本地震支援活動 愛隣館通信

4月14日21時26分、熊本地方を震央とする地震（前震：益城町/震度7）、4月16日1時25分、西原村と益城町を震央とする震度7の本震が発生。愛隣館では、4月17日社会福祉法人愛隣園熊本地震支援対策本部を立ち上げ、被災者・施設への支援体制を確立し、救援活動にあたる。



倒壊家屋



福祉施設敷地



入所施設

### 熊本地震



厚労省障害保健福祉部長お見舞い



給水配送活動



10tトラック等で全国より物資到着

### 支援物資搬入・搬出



3号館ラウンジ

### 愛隣館福祉避難所

四月十七日社会福祉法人愛隣園熊本地震支援対策本部を立ち上げ、被災者・施設への支援体制を確立。全国の施設から支援物資10tトラック積載、約六台分を受け入れ、被災地・施設へ約九十五回を配送。



支援物資搬送



昼食仕出し

山鹿温泉リフレッシュ支援事業



ベトナム育英会と炊き出し支援



炊き出しのお知らせ

**炊き出し**  
 支援アルファ米・炊き込みご飯、けんちん汁の炊き出しをベトナム育英会と実施。



避難所の方々と八千代座見学



山鹿温泉リフレッシュ支援事業 旅館にて

**山鹿温泉リフレッシュ支援事業**  
 四月三十日から毎週水曜・土曜日に避難所等二団体を山鹿温泉へ送迎。山鹿市内六ヶ所の旅館・ホテルの大浴場と食事会場をお借りし、入浴と昼食提供を観光協会等と共催。

九十五回の支援物資配送と  
五十回の温泉リフレッシュ  
支援を終えて



館長

三浦 貴子

四月の地震発災から七月末までの三ヶ月半、実に多くの方々と連携し、またご協力頂きながら私たちは支援活動が続けることができました。

全国身体障害者施設協議会各ブロックをはじめ、様々なつながる団体、個人からお寄せ頂いた物資は10トン車で六、七台分に相当し、貴重な、心づかいあふれる物資でした。県内被災施設や被災地域の人人々を助け、励まして頂きました。四月十七日より物資配送を福岡を始めとする九州各県から、そして県内施設にもご協力いただき感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございます。

法人愛隣園一丸となり、当館は支援拠点として、発災から十日間は水や食料等を一刻も早く届けようと宅配業者のような状況。一方福祉避難所としてフル稼働しました。自分達にできる事はすべてやりたいと心からそう思いました。

そして、避難の方々のニーズを聞き、その頃切実だった入浴の支援を、同じ思いを持つ市社協、山鹿温泉観光協会、経済振興委員会、九州身体障害児者施設協議会の方々と共に実行委員会形式で、支援金を持ちより組み立てる事ができました。

山鹿温泉リフレッシュ支援は、市内六ヶ所の旅館・ホテルの大浴場と食事会場をお借りし、山鹿市

食堂組合、飲食店組合の各協力店が昼食を提供。送迎を旅館や福祉施設で行い、洗濯代行、入浴介助などのサービスを施設スタッフと市ボランティア連絡協議会等で担いました。四月末から七月末まで毎週二回、二団体ずつお迎えしました。

県内六避難所と被災グループホームの方々が利用され、最後は身内のようななじみの関係が生まれたいと感じています。

発災直後のこと、避難所での日々、生業への思い、仮設住宅への移動、その時々のお気持ちを私たちは伺いました。みんなで心を合わせて、これからもできる活動が続けたいと思います。

J A スイカの贈呈式

五月十三日（金）、JA鹿本園芸部会よりたくさんのおスイカを届けて頂きました。贈呈は、愛隣の家で行われ法人愛隣園の各施設が集まり、スイカの贈呈式が行われました。

愛隣館から四名の入居者が参加。丹精込めて作られたスイカを代表で受け取りました。

愛隣館及びディ

ケア、愛隣倶楽部では昼食の時間デザートに、美味しくいただきました。いつも、おいしいスイカをありがとうございます。



新しい仲間



入居者

小嶺 典子

皆さんこんにちは、五月十九日に入所した益城町の小嶺典子です。日中は、月曜日から金曜日まで愛隣倶楽部を利用してあります。倶楽部では、DVD鑑賞やカラオケを楽しんでいます。

好きなグループはSMAPで、メンバーの中で一番好きなのは木村拓哉くんです。

私の性格は、明るくて社交的なところです。これから日中活動や愛隣館の行事にたくさん参加して友達をいっぱい作って楽しく暮らしたいと思っています。よろしくお願いします。



入居者

増田 正代

「戸惑いの毎日」

みなさん初めまして増田正代と申します。地震で住んでいた城南町の家に戻れなくなり、ご縁があった（たぶん）X X X さんと X X X さん愛隣館に入所する事となりました。

お笑いとKPOP、好きな芸人さんはダウンタウンの松本人志様で、KPOPで好きなのは防弾少年団スーパージュニアなどたくさんいます。あと上手くありませんがカラオケが好きです。ふだん出せない大きな声を出せるからです。

まだ何もわからずコモっていますが、少しずつ自分のペースで慣れていけたらと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



デイケア利用  
平川 太海 ひろみ

こんにちは、四月よりお世話になっております平川です。昨年四月に大学院を卒業し、就職活動や趣味に時間を使いながら過ごしていました。

趣味はパソコンを使ってインターネットやその他、いろいろやっています。同年代の友人は、ほとんどが熊本を離れているので、話す機会も少なくなっていました。

愛隣館では多くの皆さんと仲良くなって楽しく過ごしたいと思います。私は、人見知りなので、こちらから話しかけるのは苦手ですが、人と話すことは好きなので、たくさん話しかけてもらえると嬉しいです。パソコンのことで分からないことがあれば分かる範囲でお答えします。よろしく申し上げます。

● 新人職員紹介 ●



ケア課  
坂本 典子

はじめまして、四月から愛隣館に勤務させて頂いております坂本典子です。

以前は、製造関係の仕事をしており、退職後、介

護福祉士の専門学校に通い介護の勉強をしました。実習を愛隣館でさせていただいた際に、施設の雰囲気がとても明るく、利用者の方のやりたいこと、希望されることに対して、実現させるために様々な取り組みをされていることに、心を動かされました。利用者の方々にも大変お世話になり、元気をたくさんいただきました。

介護職員として大変未熟ではありますが、利用者の方々にとって気持ちの良い関わりができるように努めたいです。どうぞよろしく申し上げます。



ケア課  
永田 万里

三月に高等学校を卒業し、愛隣館に勤務させて頂いています。

愛隣館は利用者や職員の方々温かく、まだまだ分からないことばかりではありますが、一生懸命頑張っていくこうと思っています。

私は話をすることが大好きです。そのため、気軽に声をかけて頂けるとうれしいです。私の知らない世代の話をして頂ける時は、とても新鮮でおもしろいと感じます。

私の長所はこの若さです。これからこの若さを生かして頑張ります。よろしく申し上げます。



食生活課  
後藤 紗也加

初めまして。私は厨房で働かせて頂いております後藤紗也加です。

以前は、ゴルフ場でキャディーをしておりまして。なので料理を作る仕事をする事が初めてで、不安でしたが、周りの先輩方から丁寧に教えて頂き、今では主菜のメニューまで作れる様になりました。

現在、私は妊娠しており六月末には産休に入ってしまうのですが、また復帰して利用者の方々に美味しいと言ってもらえる様な料理を提供していきたいと思っています。

まだまだ不慣れなところがあるので、作業を効率よく出来る様に頑張りたいです。これからも宜しくお願い致します。



食生活課  
中嶋 有佐

皆さんこんにちは、昨年十月から愛隣館で、働かせて頂いております中嶋有佐と申します。

厨房職は、初めてで、学ぶ事が多く、職員の方々に丁寧に教えて頂き動いています。

最近では、厨房の仕事内容を少しずつ覚え、厨房で働いている皆さんが優しく、毎日、楽しく過ごしています。

入居者のお名前も少しずつ覚え、まだまだ覚える事も沢山あり、私自身ももっとも成長していきたいと思っています。

これからも、よろしく申し上げます。

## 愛隣館オセロ愛好者交流大会

六月二十七日(月)～八月中旬の日程で、愛隣館入居者八名、愛隣俱樂部利用者七名、デイケア利用者六名、スタッフ各々三名のオセロ愛好者による交流大会が行われています。

試合に先立ち六月二十四日(金)

愛隣俱樂部にて開会式が行われ、入居者の田中正人さんが選手宣誓を行いました。



参加者全員によるリーグ戦(総当たり戦)を行い、一人三試合中二勝した人が勝ちとなり、上位七名による決勝トーナメントを行います。大会に参加している池田正治さんは「オセロを楽しみながら決勝進出を目指したい」と意気込みを話してくれました。

## 花しょうぶまつり

入居者

久留ノブ子

六月七日(火)、玉名の高瀬浦川で行われている「花しょうぶまつり」へ、同じ入居の多田隈ヨシエ

さんと金柿せつ子さんと、スタッフ三名で行って来ました。

午前中、雨が降りそうな天気だったので心配していましたが、午後からは良いお天気になり暑いくらいでした。

玉名の大橋を渡るとたくさんの方の出迎えてくれました。皆で遊歩道をゆつくり散策しました。紫や薄桃色、白色の菖蒲の花がたくさん咲き誇り、とても美しかったです。

出店もあったので、お煎餅を買いました。(こ)は、車いすでも安心して菖蒲を観ることができ、アツという間に時間が過ぎてしまい、後ろ髪を引かれる思いで帰って来ました。



(聞き取り：広報部)

## 朗読ボランティア訪問

五月十三日(金)、「猪々会」の皆さんが朗読ボランティアに来られました。

「猪々会」は、毎年、春と秋の二回、ボランティアで訪問活動が続けておられます。

愛隣館食堂には、入居者、デイケア、愛隣俱樂部

利用者が大勢集まりました。

今回の朗読劇は、「青竹三本塩一升」という越後の民話が披露され、参加者の皆さんは、巧みな朗読に聞き入っていました。

その後、童謡五曲が披露され、最後に参加者からのリクエストで「水戸黄門」を歌いました。

参加者の河津政男さんは、「朗読劇も面白かったけど、馴染みの『ふるさと』や『水戸黄門』を皆さんで歌って楽しかった。また来てほしいです」と笑顔で話されました。



## お知らせ

毎年恒例の、法人愛隣園夏祭りが左記の日程で行われます。たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

場所：愛隣の家玄関前広場

日時：八月二十七日(土) 午後五時半～

『あいめーる』の企画・編集は利用者で構成された広報チーム、キャリアピジョンが担っています。